



都道府県対抗スプリント決勝。右が優勝の屋良。

シクリスムエコーNo.132 2006年8月号



第41回全国都道府県対抗自転車競技大会 ..... 2  
CCC修善寺2006 移動サブセンター ..... 4



第23回シマノ鈴鹿国際ロードレース ..... 5



2006年ジュニア世界選手権大会 ..... 6

ツール・ド・ラピティビ2006 ..... 8



平成18年度全国高等学校総合体育大会 ..... 10  
2006 BMX世界選手権大会 ..... 12  
JCFニュース ..... 12



第14回三笠宮杯ツール・ド・とうほく ..... 13  
競技大会結果 ..... 14  
各大会日本代表選手団 ..... 5・7・15・16  
連盟の動き ..... 16



この広報誌は、「競輪公益資金」の補助を受けました。  
<http://www.keirin.jp/>



# 第41回全国都道府県対抗自転車競技大会

地元・秋田が男子総合優勝!



男子ロード1位の地元・守澤



男子ロードのスタート

女子ロード1位の豊岡



女子ロードの先頭集団(右から2番目が優勝の豊岡)



チームスプリント1位の山梨



団体追抜1位の岐阜

成年1kmTT 1位の城



少年1kmTT 1位の不破



500mTT 1位の川満



ロードも優勝した守澤が成年ポイント1位(左)



先頭が少年ポイント1位の高橋



スプリント1位の屋良(左)と2位の河端



キャップNo.6が女子ポイント1位の針谷

まだまだ暑さの厳しい中、秋田県美郷町六郷で8月20日から22日、第41回全国都道府県対抗自転車競技大会が開催された。

初日は男女のロードレースが行われた。サテライト六郷からのパレード走行後、37.4kmの周回コースを男子3周、女子2周で競われ、男子は地元秋田の守澤が、また女子は大阪の豊岡がそれぞれ単独でフィニッシュした。

2日目からは六郷自転車競技場に戦いの場を移してトラックレースが行われた。この六郷競技場は非常にコンディションが良いようで、スプリント

予選の200mFTTやチームスプリントにおいて大会新記録がめじろ押しであった。

またトラック初日の夕方、成年ポイントレース決勝の最中、天候が急変し猛烈な雷雨となってしまった。そのためレース中断となり、(中断した距離が15~25kmのため)その時点の成績を継続して翌日に再スタートするという珍しい状況になった。

最終日は前日出来なかった種目を行なうため予定より30分早く競技が開始され、成年・少年・女子ポイントレースと男子スプリントが行われ、スプリン

トでは予選1位通過の屋良が危なげなく優勝した。

**[ 競技結果 ]**

第41回全国都道府県対抗自転車競技大会 (2006/8/20-22 秋田・六郷)

男子個人ロードレース(112.2km)

|    |       |     |         |
|----|-------|-----|---------|
| 1  | 守澤 太志 | 秋 田 | 2:44:42 |
| 2  | 市山 研  | 神奈川 | 2:47:20 |
| 3  | 中田 匠  | 岩 手 | 2:47:25 |
| 4  | 根本 哲吏 | 秋 田 | 2:47:26 |
| 5  | 江下健太郎 | 福 岡 | 2:47:26 |
| 6  | 井上 卓  | 秋 田 | 2:47:26 |
| 7  | 棟久 明博 | 山 口 | 2:47:27 |
| 8  | 森 真博  | 香 川 | 2:47:28 |
| 9  | 堀内 俊介 | 神奈川 | 2:47:40 |
| 10 | 笠原 慶輔 | 茨 城 | 2:47:41 |

男子スプリント

|   |       |     |
|---|-------|-----|
| 1 | 屋良 朝春 | 沖 縄 |
| 2 | 河端 朋之 | 鳥 取 |
| 3 | 鈴木雄一朗 | 山 梨 |
| 4 | 深谷 知広 | 愛 知 |
| 5 | 雨谷 一樹 | 栃 木 |
| 6 | 宮崎 康司 | 香 川 |

成年男子1kmタイムトライアル

|   |       |     |          |
|---|-------|-----|----------|
| 1 | 城 幸弘  | 山 梨 | 1:07.334 |
| 2 | 内村 竜也 | 山 口 | 1:08.437 |
| 3 | 西村 光太 | 三 重 | 1:08.501 |
| 4 | 柁原 翔太 | 神奈川 | 1:09.384 |
| 5 | 駒井 大輔 | 東 京 | 1:09.527 |
| 6 | 矢野 賢児 | 香 川 | 1:09.542 |

男子少年1kmタイムトライアル

|   |       |     |          |
|---|-------|-----|----------|
| 1 | 不破 将登 | 岐 阜 | 1:07.534 |
| 2 | 田口 守  | 秋 田 | 1:08.344 |
| 3 | 松川 高大 | 熊 本 | 1:09.326 |
| 4 | 澤口 大和 | 宮 城 | 1:09.502 |
| 5 | 長島 大介 | 栃 木 | 1:09.691 |
| 6 | 三木 翔太 | 群 馬 | 1:10.104 |

男子成年ポイントレース(30km)

|   |       |     |     |
|---|-------|-----|-----|
| 1 | 守澤 太志 | 秋 田 | 44p |
| 2 | 武藤 大輔 | 高 知 | 42p |
| 3 | 森田 大介 | 和歌山 | 28p |
| 4 | 市山 研  | 神奈川 | 21p |
| 5 | 西山 知宏 | 福 井 | 7p  |
| 6 | 菅原 勝良 | 埼 玉 | 6p  |

男子少年ポイントレース(24km)

|   |       |     |     |
|---|-------|-----|-----|
| 1 | 高橋 翔太 | 岐 阜 | 50p |
| 2 | 越海 誠一 | 大 分 | 39p |
| 3 | 笠原 慶輔 | 茨 城 | 31p |
| 4 | 松田 隆寛 | 鳥 取 | 28p |
| 5 | 野中 竜馬 | 広 島 | 13p |
| 6 | 千葉 大輔 | 岩 手 | 9p  |

男子4km団体追抜競走

|   |     |                |          |
|---|-----|----------------|----------|
| 1 | 岐阜  | 不破・高橋・横関・山田純   | 4:34.950 |
| 2 | 京都  | 太田・足立・小西・海老瀬   | 4:38.524 |
| 3 | 和歌山 | 森田・藤田・榎本・木守    | 4:36.491 |
| 4 | 鳥取  | 松田・伊藤・山崎・田中亨   | 4:41.066 |
| 5 | 鹿児島 | 中山・江夏・大久保・出来   | 4:44.984 |
| 6 | 山形  | 佐竹・田中真・田中光・山田亮 | 4:47.674 |

男子チームスプリント

|   |     |          |          |
|---|-----|----------|----------|
| 1 | 山 梨 | 城・鈴木・伊藤  | 1:05.386 |
| 2 | 秋 田 | 田口・山崎・石川 | 1:05.530 |
| 3 | 栃 木 | 長島・雨谷・磯田 | 1:06.477 |
| 4 | 岡 山 | 片岡・連沸・小西 | 1:06.639 |
| 5 | 山 口 | 内村・山下・沢田 | 1:06.241 |
| 6 | 三 重 | 西村・小川・村田 | 1:06.246 |

男子総合得点順位

|   |     |     |
|---|-----|-----|
| 1 | 秋 田 | 52p |
| 2 | 岐 阜 | 40p |
| 3 | 山 梨 | 38p |

女子個人ロードレース(74.8km)

|   |       |     |         |
|---|-------|-----|---------|
| 1 | 豊岡 英子 | 大 阪 | 2:06:19 |
| 2 | 内田菜穂子 | 大 阪 | 2:11:09 |

|    |       |     |         |
|----|-------|-----|---------|
| 3  | 針谷千紗子 | 栃 木 | 2:11:10 |
| 4  | 堀 友紀代 | 神奈川 | 2:11:13 |
| 5  | 中山 朋子 | 神奈川 | 2:17:13 |
| 6  | 明珍 裕子 | 鹿児島 | 2:21:12 |
| 7  | 玉井 千晶 | 香 川 | 2:21:13 |
| 8  | 山平 茜  | 鳥 取 | 2:23:07 |
| 9  | 河端あゆみ | 鳥 取 | 2:23:08 |
| 10 | 矢島ルリ子 | 熊 本 | 2:23:16 |

女子500mタイムトライアル

|   |       |     |        |
|---|-------|-----|--------|
| 1 | 川満 佳子 | 熊 本 | 38.869 |
| 2 | 石川菜々子 | 香 川 | 39.255 |
| 3 | 福島 麻実 | 熊 本 | 39.649 |
| 4 | 近藤 美子 | 愛 知 | 40.546 |
| 5 | 川又 千裕 | 鹿児島 | 40.611 |
| 5 | 河端あゆみ | 鳥 取 | 40.611 |

女子ポイントレース(16km)

|   |       |     |     |
|---|-------|-----|-----|
| 1 | 針谷千紗子 | 栃 木 | 23p |
| 2 | 柁原 彩  | 熊 本 | 18p |
| 3 | 豊岡 英子 | 大 阪 | 15p |
| 4 | 中山 朋子 | 神奈川 | 5p  |
| 5 | 松尾 智佳 | 愛 媛 | 4p  |
| 6 | 上野 佐智 | 大 分 | 4p  |

女子総合得点順位

|   |     |     |
|---|-----|-----|
| 1 | 熊 本 | 23p |
| 2 | 大 阪 | 21p |
| 3 | 神奈川 | 16p |



# UCI Continental Cycling Center Shuzenji

## 2006 移動サブセンター



財団法人日本サイクルスポーツセンター(CSC)内に設置されている、コンチネンタル・サイクリング・センター・修善寺(CCC修善寺)は、アジア地域における世界レベルの選手の育成とトラック競技の発展、普及を目的として、7月14日~24日までの間、タイ王国・バ

ンコクのアママーク競技場において「2006移動サブセンター」を開催しました。

通常、CSCにコーチ・選手を集めてトレーニングキャンプを実施しますが、これは、普段来日が難しい国々に対して、CCC修善寺のコーチングスタッフが現

地へ赴き指導にあたるというキャンプです。

参加国は、世界レベルの大会への出場経験がある選手から、トラックレーサーに乗ることが始めての国々まで幅広いレベルでした。その中で、それぞれに合わせた指導により、初体験の参加者も最後には、皆と同様のトレーニングをこなせるまでに至りました。また、それらのまだトラック競技を知らない国々に対して、期間中、デモンストレーションレースにより競技説明を実施、アジア地域のトラック競技の普及活動に努めました。

参加国は、ホンコンチャイナ、インドネシア、日本、大韓民国、ミャンマー、ネパール、フィリピン、スリランカ、タイ王国の9カ国及び地域から、10名のコーチ、24名の選手、合計34名が灼熱の太陽の下トレーニングに汗を流しておりました。

(CCC修善寺 野田 尚宏)

## 第23回シマノ鈴鹿国際ロードレース



国際ロードのスタート



ゴールスプリントを制したDennis Smit

第23回シマノ鈴鹿国際ロードレース大会  
(2006/8/27 三重・鈴鹿サーキット)

個人ロードレース (58.21 km)

- |    |                     |          |            |
|----|---------------------|----------|------------|
| 1  | Dennis Smit         | NED      | 1:17:17.00 |
| 2  | Andy Jacques Maynes | USA      | 1:17:17.15 |
| 3  | 盛 一大                | 愛三工業 JPN | 1:17:17.23 |
| 4  | Mickael Buffaz      | FRA      | 1:17:17.72 |
| 5  | 大内 薫                | シマノ JPN  | 1:17:18.12 |
| 6  | Thomas Berkhout     | NED      | 1:17:18.34 |
| 7  | 長野 耕治               | トリック JPN | 1:17:18.41 |
| 8  | 田中 光輝               | 愛三工業 JPN | 1:17:24.52 |
| 9  | Lenaic Olivier      | FRA      | 1:17:27.30 |
| 10 | 西谷 泰治               | 愛三工業 JPN | 1:17:27.50 |

### アジア<sup>及び</sup>ジュニア・アジア選手権自転車競技大会 日本代表選手団

|       |  |
|-------|--|
| 大会名   | 第26回アジア選手権自転車競技大会・第13回ジュニア・アジア選手権自転車競技大会   |
| 開催場所  | マレーシア・クアラルンプール   |
| 大会期間  | 2006年9月9日～16日  |
| 派遣期間  | 2006年9月4日～18日(種目により異なる)  |
| 代表選手団 |  |
| 監督    | 福田 公生 (JCF強化コーチ)   |
| コーチ   | 阿部 良二・三浦 恭資 (JCF強化コーチ)   |
| メニツク  | 森 昭雄 (JCF強化スタッフ)・齊藤 健吾 (JCFロード競技部会支援スタッフ)  |
| マッサー  | 柳 浩史・酒井 修 (JCF支援スタッフ)  |
| 総務    | 横田 恭・山田 克彦 (JCF選手強化部)  |
| エリート  | 稲垣 裕之 (JPCA・京都)・成田 和也 (JPCA・福島)・及川 裕奨 (JPCA・岩手)<br>北津留 翼 (JPCA・福岡)・新田 祐大 (JPCA・福島)・飯島 規之 (JPCA・埼玉)<br>内田 慶 (JPCA・栃木)・飯島 誠 (チーム・プリヂストンアンカー)<br>川西 貴之 (日本大学)・角 令央奈 (鹿屋体育大学)・三船 雅彦 (ミヤタスバルレーシング)<br>福島 晋一 (チームバン)・阿部 良之 (スキルシマノ)・廣瀬 敏 (愛三工業レーシング) |
| ジュニア  | 佃 咲江 (北海商科大学)・和田見里美 (中京大学)<br>坂本 貴史 (八戸工業高校)・松川 高大 (九州学院高校)<br>伊藤 雅和 (法政第二高校)・鳶田 義明 (川越工業高校)   |

# 2006年ジュニア世界選手権大会

## 伊藤がポイントレース6位!

### ジュニア・トラック世界選手権

2006年のジュニアトラック世界選手権大会は、ベルギーのアントワープ市エディメルクス自転車競技場で開催された。日本からの選手団は坂本貴史(八戸工業)、佐渡空史(京葉工業)、関根彰人(学法石川)、松川高大(九州学院)、須永優太(白河実業)、伊藤雅和(法政二)の以上6名に、監督・コーチ・総務、更に現地メカニックとトレーナー、そしてジュニアの大会に初めて岡田行雄常務理事が団長として加わり大会に臨んだ。

エディ・メルクスはベルギー出身で、ロードレースの最高峰ツール・ド・フランス5連覇を成し遂げた偉人の一人である。この名がつけられた250m板張り競技場は、郊外の国営総合運動公園内に位置し、広い公園内には様々な競技施設・キャンプ場・レストラン・宿泊施設が併設され、ナショナルトレーニングセンターとして通常、ナショナルチームが1年を通して寄宿している。ナショナルチームは大会時はオフとして自宅に戻され、かわりに公園内はバカンスを楽しむ家族連れでにぎわっている。道路には自転車専用道路帯が設けられ、競技用自転車に乗る多くの市民を見ると、自転車の本場ヨーロッパを感じさせる。

参加選手は1月にジュニア合宿、2月にオーストラリア遠征を経験し、6月に再編が行われたが殆どの選手が残り、文字通り最強ジュニアをもって大会へ臨んだ。250m未経験に近い選手達は、あいにく工事中で使用できないCSC250mバンクでの合宿を断念し、通常より3日早く事前合宿として先乗りしてトレーニングに励んだ。渡航時間は、10時間の飛行機、更に車で3時間、夜9時をまわっても景色は明るかった。宿舎に到着したのは夜12時過ぎであった。宿舎は前述のナショナル選手が寄宿している宿泊施設で、シャワー・ベッド・机があるのでテレビ・冷蔵庫・電話もないが、競技場まで約1.5kmと近く条件は良かった。合宿中は250m走路に慣れることだけを考え、周回練習や種目別のトレーニングを行った。

大会初日、スクラッチ予選出場の須

永はスピードのある中距離選手で、集団には充分ついていけたが最終ゴール前集団内で単独落車。更に走行違反の失格というペナルティもついていた。ケガのダメージは軽く、その日は休養させて翌日の個人追抜に賭けさせた。続いてポイントレース出場の伊藤は予選15kmを9点獲得の2位通過。午後から行われた決勝25kmでは10点を獲得し、6位入賞を果たした(平均48.9km/h)。



予選は殆ど午前中に行われ、午後6時からが順位決定戦というのがUCIスタイルである。仕事の終わった一般客が、観戦しやすい時間帯に入場料をとり見せ処をつくり、レースの見やすい観客席はお客さんのためのもので、選手関係者は中央ピット内に押し込まれる。

午後はチームスプリント予選が行われ、佐渡・関根・坂本で臨んだ日本チームは9位であった。タイムは49秒173で、1位のイギリスとの差は3秒もある。約2時間後にイギリスチームは、予選タイムを更に向上させ優勝した。女子500m決勝は35秒台4名、36秒台も5名おり、世界との差を感じさせた。



2日目、午前中に女子スプリント予選が行われ、11秒台を5名が出していた。追抜予選は出場した須永・伊藤ともに3分37秒台の平凡タイム。ベストタイムは3分18秒台で、ベスト4に残るには25秒を切る必要がある。

昼近くに始まったケイリン予選は5

~6名出走で、1着のみ2回戦へ進むことができる。松川・佐渡ともに敗退し、復活戦へまわる。反省を活かし思い切って両者とも先行できたが、ゴール前でさされ敗退した。力で劣っていることは間違いないが、250mバンクの特性を活かした走り方、経験の少なさも敗因となっている。日本で採用されている1名1種目制度を見直す必要も感じた。今回のメダリストの多くは、複数種目をこなした上メダルを獲得しているという現状を考えなければならない。

午後からは1kmタイムトライアル。坂本・関根はともに1分8秒台の平凡タイム。優勝タイムは1分4秒0であった。注目すべきは、3km個人追抜に44名のエントリーに対して1kmは22名。ともに各国2名出場できるが、これはオリンピック種目から消えてしまった影響か?中距離種目への移行傾向を予感させる。

3日目、女子2km予選1位はウクライナの選手2分27秒で、最初の1kmを1分13秒で通過。メダル獲得には2分30秒を切らないと届かない現実を感じた。

4km団体追抜予選、ベスト4に入るには4分17秒台が必要であった。ニュージーランド・オーストラリア・イギリス・フランスが最初の1kmを06秒台、2kmからは1kmを02秒から03秒で走るラップは、200m平均12秒4程度である。練習においても2km×3本をコーチの指示したラップで刻み、3本目がベストタイムであることに驚かされた。

午後6時からスプリント予選が始まった。48度もある急斜面、小さいコーナー、何より走路フェンスが腰の位置より低く、近くにいる観客の手が触れそうである。選手は緊張の中、坂本11秒321で27位、松川11秒409の30位、佐渡は11秒636、35位で、40名中の24名に残れなかった。トップタイムは10秒3で、予選1位、2位がそのままの順位でメダルに輝いた。

今大会を振り返ると、望みであった短距離男子の敗退は、世界レベルの向上と日本選手のレベルの停滞を意味するものであり、ジュニアにおいてメダル獲得の国がほぼ固まりつつある現象は、世界のトレーニング・選手養成シス

テムと、日本のシステムの現状との差を浮き彫りにした。(折本 裕樹)

### ジュニア・ロード世界選手権

ロード代表チーム(コーチ・上野孝、選手・篠原力也・内間康平・鳥田義明)は8月7日に会場地のスパに入った。

当地での競技日程は10日が個人タイムトライアル、13日が個人ロードレースで、調整期間がTTまでに2日、個人ロードまでに5日と短く、刻々と変わる天気にも悩まされながら、慌しく準備が進められた。

コースはTT(11.8×2周=23.6km)、個人ロード(13.6×9周=122.4km)で、F1グランプリで知られるスパ・フランコルシャン・サーキットコースに一般道路を加えた、起伏に富んだ変則的レイアウトが用意されていた。ハードなコースに日本チームにとっては、厳しいレース展開が予想された。

TTでは篠原が下りのランナバルト(ロータリーの分離帯)で転倒棄権。鳥田は「下りで引き離された」とレース後



に言うように、力とテクニックの差を見せつけられた形で完敗した。

篠原欠場のため内間・鳥田の2名で臨むこととなった個人ロードは、「個人ロードに懸けます」と内間が我々の期待通り、序盤から積極的に集団の前をキープし安定した走りで闘志をみせた。一方、鳥田も「足の疲れが取れない」と最後まで心配をさせたが集団に食い下がり、TTでの不振を払拭する上々の滑り出しをみせ、我々スタッフの応援を活気づかせた。



しかし、レース終盤のアタックの掛け合いによりインターバルが激しくなり、内間・鳥田の表情に苦しさが見られるようになった。7周目に入り内間が、8周目に鳥田が集団から遅れはじめ追走すら危ぶまれる状況となったが、かろうじて完走を果たした。ゴール後、悔しい表情を浮かべながらも「集団での位置取りやコーナリングのテクニックに差はあるが、経験を積みばもっとやれる」と、将来に期待を膨らませる感想を漏らした内間の言葉が印象に残った。(上野 孝)

### [ 競技結果 ]

2006年ジュニア・ロード世界選手権大会  
(2006/8/5-8 ベルギー・ゲント 250m木製)

#### 男子スプリント

|   |                  |     |      |
|---|------------------|-----|------|
| 1 | KENNY Jason      | GBR |      |
| 2 | SUNDERLAND Scott | AUS |      |
| 3 | ELLIS Daniel     | AUS |      |
|   | 坂本 貴史            | JPN | 予選敗退 |
|   | 関根 彰人            | JPN | 予選敗退 |
|   | 佐渡 空史            | JPN | 予選敗退 |

#### 男子1kmタイムトライアル

|    |                  |     |          |
|----|------------------|-----|----------|
| 1  | SUNDERLAND Scott | AUS | 1:04.051 |
| 2  | LYTE Christian   | GBR | 1:05.454 |
| 3  | DANIELL David    | GBR | 1:05.694 |
| 15 | 坂本 貴史            | JPN | 1:08.011 |
| 17 | 関根 彰人            | JPN | 1:08.674 |

#### 男子ケイリン

|   |                 |     |      |
|---|-----------------|-----|------|
| 1 | KENNY Jason     | GBR |      |
| 2 | BOIRON Ghislain | FRA |      |
| 3 | BOURIN Nicolas  | FRA |      |
|   | 松川 高大           | JPN | 予選敗退 |
|   | 佐渡 空史           | JPN | 予選敗退 |

#### 男子3km個人追抜競走

|    |                    |     |          |
|----|--------------------|-----|----------|
| 1  | MEYER Cameron      | AUS | 3:20.325 |
| 2  | GOUGH Westley Marc | NZL | 3:22.558 |
| 3  | SERGEANT Jesse     | NZL | 3:23.426 |
| 31 | 須永 優太              | JPN | 3:37.102 |
| 33 | 伊藤 雅和              | JPN | 3:37.439 |

#### 男子スクラッチ(10km)

|   |                   |     |      |
|---|-------------------|-----|------|
| 1 | KENNAUGH Peter    | GBR |      |
| 2 | LAMOISSON Morgan  | FRA |      |
| 3 | GALANIS Vasileros | GRE |      |
|   | 須永 優太             | JPN | 予選敗退 |

#### 男子ポイントレース(25km)

|   |                 |     |     |
|---|-----------------|-----|-----|
| 1 | MARTYNENKO      | UKR | 26p |
| 2 | BELLIS Jonathan | GBR | 23p |
| 3 | MEYER Travis    | AUS | 23p |
| 6 | 伊藤 雅和           | JPN | 11p |

#### 男子チームスプリント

|   |               |     |        |
|---|---------------|-----|--------|
| 1 | Great Britain | GBR | 46.146 |
| 2 | Australia     | AUS | 46.672 |
| 3 | Greece        | GRE | 47.658 |
| 9 | 日本 佐渡・坂本・関根   |     | 49.173 |

2006年ジュニア・ロード世界選手権大会

(2006/8/10-13 ベルギー・スパ・フランコルシャン)

#### 男子個人タイムトライアル(23.6km)

|    |                 |     |          |
|----|-----------------|-----|----------|
| 1  | KITTEL Marcel   | GER | 34:03.29 |
| 2  | PIERRET Etienne | FRA | 34:14.68 |
| 3  | GALLOPIN Tony   | FRA | 34:36.52 |
| 67 | 鳥田 義明           | JPN | 39:23.31 |
|    | 篠原 力也           | JPN | DNF      |

#### 男子個人ロードレース(122.4km)

|     |                 |     |         |
|-----|-----------------|-----|---------|
| 1   | ULISSI Diego    | ITA | 3:08:50 |
| 2   | OSTERGAARD Niki | DEN | 3:08:59 |
| 3   | GALLOPIN Tony   | FRA | 3:08:59 |
| 107 | 鳥田 義明           | JPN | 3:21:40 |
| 120 | 内間 康平           | JPN | 3:29:41 |



### 2006年ジロ・デ・トスカーナ日本代表選手団

開催場所 イタリア・トスカーナ州

大会期間 男子:2006年9月7日~10日、女子:2006年9月12日~17日

派遣期間 男子:2006年9月4日~12日、女子:2006年9月9日~19日

代表選手団

コーチ 大門 宏(JCFロード競技部会員)  
効・通訳 西 勉(JCFロード支援スタッフ)

選手

男子 新城 幸也(チームパン)  
三瀧 光誠(鹿屋体育大学)  
畑中 勇介(チームプリヂストーンアンカー)  
村山 規英(チームプリヂストーンアンカー)  
山下 貴宏(ミヤタスバルレーシング)

女子 萩原麻由子(鹿屋体育大学)  
嶋田 広子(YALE大学)  
宮崎 杏菜(鹿屋体育大学)  
豊岡 英子(masahiko mifune.com)  
真下 正美(Team SPECIALIZED)  
井上 玲美(法政大学)

# ツール・ド・ラビティビ 2006

伊藤が個人総合8位、団体総合は2位!



## 大会初日(プロローグ 0.4km)

プロローグは直線のセパレートコースに1名ずつ入る、対戦方式のタイムトライアル。

スピードある選手も多く、気合十分でスタートラインに並ぶも、ピストルのタイミングが合わず全員出遅れ、対戦相手のカナダチームに全敗であった。しかしながら、会場は大いに盛り上がり、趣向としては面白かった。

## 第1ステージ(113.2km)

内間(沖縄:北中城3)を含む7名が終盤エスケープに成功し、ゴールスプリントで内間が3位に入賞した。ステージ初日に積極的な逃げの展開による、理想的なレースでの入賞であった。日本チームとしても、幸先のよいスタートを切ることができた。

## 第2ステージ(チームTT 8.2km)

日本チームはコースアウトと落車によりトップと38秒差の10位に終わったが、トラブルなければステージ優勝も十分可能であっただけに残念であった。参加メンバー次第では、次年度以降は期待が持てるステージであると感じた。

## 第3ステージ(88.5km)

積極的に仕掛けるも逃げが決まらず大集団によるゴールスプリントとなった。伊藤(神奈川:法政二3)の9位が日本最高位。初日の内間の入賞がチームを活気づけ、各選手が積極的にアタックを繰り返すなどチーム全体に積極性が見られた。

## 第4ステージ(個人TT 14.5km)

個人TTは、鳶田(埼玉:川越工3)の20位が最高であった。日本においてこの

類のレースが少ない(距離的な問題も含めて)ため、選手もペース配分がつかみにくいようであった。日本で開催されるレースのように、道路の清掃が行き届いて砂利も無いようなコースは海外ではありえない。常に道路状況を的確に

見極め走行しなければ、結果として順位を落としてしまう。

## 第5ステージ(51km)

街中でクリテリウムが実施された。昨年とはコースが変更になり、アップダウンやコーナーも多くなった。3名のトップ集団に続き、第2集団のゴールスプリントを内間が制して4位に入賞。伊藤もその集団にてゴールし7位に入賞し、ステージ毎のチーム優勝も飾ることができた。作戦とメンバー次第ではフラットコースでも十分に勝利することができると感じた。

## 第6ステージ(107.6km)

上りの頂上にゴールが設定(昨年要望)された。前日のコース下見の際にも日本選手全員が自信たっぷりの表情で「任せといてください」とのこと。道中の逃げは決まらなかったものの、理想的なゴール設定に吉田(奈良:榛原昇陽2)が期待に応え2位に入賞。伊藤も6位に入賞し、昨日に続きチーム優勝を飾った(2位は過去最高成績)。残り2ステージでチーム優勝も可能なだけに、残りステージが楽しみである。

個人成績も重要であるが、チーム総合もカナダナショナルに続いて2位につけており、チームとして何ができるかを学ぶ最高の機会でもあるため、残り2ステージはカナダとのタイム差を詰めることを意識して取り組みたい。

## 第7ステージ(94.4km)

各チーム疲労の色が見え動きが鈍いように感じた。日本チームも例外ではなかったが、それでもアタックを試み続けた。しかしながら上位チームの

チェックが厳しいこともあり、なかなかエスケープが決まらず集団ゴールとなった。集団ゴールによる内間の31位が最高であった(全員同タイム)。

## 第8ステージ(51km)

最終ステージは街中のクリテリウムにて実施(第5ステージとは別コース)された。途中何度も日本チームを中心としたエスケープ集団が形成されるも、チェックが厳しくなかなか逃がしてくれない。最終日ということもあり、各選手ステージ優勝を虎視眈々と狙っているようであった。レースは後半に3名のトップ集団が形成され、最終周回に入る。2名が脱落し集団に吸収され1名の選手が逃げ切り優勝を飾った。2位以下は大集団でのゴールスプリント。好位置をキープした篠原が4位に入賞し、個々の選手が力を出し切り全ステージを終了した。

## 総括

昨年参加した際に日本チームとしてのいくつかの要望を主催者に伝えた。要望した事柄の多くが実現されており気持ちよく参加することができた。選手・スタッフともただ参加するだけでなく、他のチームや主催者・コミッセルともコミュニケーションを深めた結果ではないかと感じている。

今回の結果に関して、選手の積極的な走りもさることながら、何事にも積極的にアクションを起こし、コミュニケーションを深め、形にしようと努力することが今回の成績につながったと確信している。

競技に関すること、また現地での日常生活に関すること等、まだまだ改善されなければならないことも多くあるが、これら海外研修を単一事業に終わらせることなく、未来ある選手のために今後ともバックアップしていきたい。(中田 将次)

## [競技結果]

ツール・ド・ラビティビ 2006 (UCI2.HCMJ)  
(2006/7/17-23 カダ・モントリオール)

### 個人総合成績

|                      |     |          |
|----------------------|-----|----------|
| 1 HINNEN Mark        | CAN | 11:51:35 |
| 2 GOODFELLOW William | CAN | 11:51:50 |
| 3 BOIVIN Guillaume   | CAN | 11:52:11 |

|          |     |          |
|----------|-----|----------|
| 8 伊藤 雅和  | JPN | 11:52:59 |
| 19 内間 康平 | JPN | 11:53:35 |
| 21 吉田 隼人 | JPN | 11:53:36 |
| 29 髙田 義明 | JPN | 11:53:50 |
| 30 篠原 力也 | JPN | 11:53:54 |
| 48 初山 翔  | JPN | 11:54:53 |

## 団体総合成績

|          |          |
|----------|----------|
| 1 Canada | 35:14:31 |
| 2 Japon  | 35:17:30 |
| 3 Quebec | 35:17:31 |

## 7月17日 (0.4km)

|                    |     |        |
|--------------------|-----|--------|
| 1 SMITH Eric       | CAN | 27.371 |
| 2 BOIVIN Guillaume | CAN | 27.803 |
| 3 BLOUIN Vincent   | CAN | 27.830 |
| 32 吉田 隼人           | JPN | 28.932 |
| 40 髙田 義明           | JPN | 29.115 |
| 83 内間 康平           | JPN | 29.925 |
| 111 伊藤 雅和          | JPN | 30.624 |
| 124 初山 翔           | JPN | 30.977 |
| 135 篠原 力也          | JPN | 31.442 |

## 第1ステージ (113.2km) 7月18日

|                    |     |         |
|--------------------|-----|---------|
| 1 NADEAU David     | CAN | 2:25:53 |
| 2 VERHAEGHE Sander | BEL | 2:25:53 |
| 3 内間 康平            | JPN | 2:25:53 |
| 19 篠原 力也           | JPN | 2:26:07 |
| 84 髙田 義明           | JPN | 2:26:07 |
| 95 伊藤 雅和           | JPN | 2:26:07 |
| 98 吉田 隼人           | JPN | 2:26:07 |
| 113 初山 翔           | JPN | 2:26:07 |

## 第2ステージ TTT (8.2km) 7月18日

|                        |       |
|------------------------|-------|
| 1 Canada               | 10:16 |
| 2 France-Poles Espoirs | 10:33 |
| 3 Quebec               | 10:36 |
| 10 Japon               | 10:54 |

## 第3ステージ (88.5km) 7月19日

|                      |     |         |
|----------------------|-----|---------|
| 1 ULLOA Camilo       | COL | 1:51:16 |
| 2 HINNEN Mark        | CAN | 1:51:16 |
| 3 SINTOBIN Sebastien | BEL | 1:51:16 |
| 9 伊藤 雅和              | JPN | 1:51:16 |
| 35 内間 康平             | JPN | 1:51:16 |
| 50 初山 翔              | JPN | 1:51:16 |
| 64 吉田 隼人             | JPN | 1:51:26 |

|          |     |         |
|----------|-----|---------|
| 76 篠原 力也 | JPN | 1:51:26 |
| 96 髙田 義明 | JPN | 1:51:26 |

## 第4ステージ TT (14.5km) 7月20日

|                      |     |       |
|----------------------|-----|-------|
| 1 SOLLER Kevin       | USA | 21:35 |
| 2 SMITH Eric         | CAN | 21:55 |
| 3 GOODFELLOW William | CAN | 22:03 |
| 20 髙田 義明             | JPN | 23:04 |
| 21 篠原 力也             | JPN | 23:06 |
| 34 伊藤 雅和             | JPN | 23:15 |
| 45 内間 康平             | JPN | 23:28 |
| 50 吉田 隼人             | JPN | 23:34 |
| 88 初山 翔              | JPN | 24:16 |

## 第5ステージ クレリカム (51km) 7月20日

|                    |     |         |
|--------------------|-----|---------|
| 1 HOUSE Cole       | USA | 1:09:31 |
| 2 VAILLANT Nicolas | FRA | 1:09:31 |
| 3 ANDERSSON Lars   | SWE | 1:09:31 |
| 4 内間 康平            | JPN | 1:09:43 |
| 7 伊藤 雅和            | JPN | 1:09:43 |
| 17 篠原 力也           | JPN | 1:09:56 |
| 36 初山 翔            | JPN | 1:09:56 |
| 60 吉田 隼人           | JPN | 1:09:56 |
| 109 髙田 義明          | JPN | 1:09:56 |

## 第6ステージ (107.6km) 7月21日

|                          |     |         |
|--------------------------|-----|---------|
| 1 BLAIS-DUFOUR Guillaume | CAN | 2:28:37 |
| 2 吉田 隼人                  | JPN | 2:28:40 |
| 3 BOIVIN Guillaume       | CAN | 2:28:40 |

|          |     |         |
|----------|-----|---------|
| 6 伊藤 雅和  | JPN | 2:28:40 |
| 34 篠原 力也 | JPN | 2:29:17 |
| 62 初山 翔  | JPN | 2:29:17 |
| 67 内間 康平 | JPN | 2:29:17 |
| 83 髙田 義明 | JPN | 2:29:17 |

## 第7ステージ (94.4km) 7月22日

|                    |     |         |
|--------------------|-----|---------|
| 1 BARSIR-RHYNE Ben | USA | 2:04:45 |
| 2 HINNEN, Mark     | CAN | 2:04:45 |
| 3 CHAMON, Thomas   | BEL | 2:04:45 |
| 31 内間 康平           | JPN | 2:04:45 |
| 34 吉田 隼人           | JPN | 2:04:45 |
| 37 篠原 力也           | JPN | 2:04:45 |
| 49 伊藤 雅和           | JPN | 2:04:45 |
| 62 初山 翔            | JPN | 2:04:45 |
| 77 髙田 義明           | JPN | 2:04:45 |

## 第8ステージ (51km) 7月23日

|                          |     |         |
|--------------------------|-----|---------|
| 1 VERHAEGHE Sander       | BEL | 1:17:44 |
| 2 BLAIS-DUFOUR Guillaume | CAN | 1:17:48 |
| 3 GOODFELLOW William     | CAN | 1:17:52 |
| 4 篠原 力也                  | JPN | 1:17:52 |
| 27 髙田 義明                 | JPN | 1:17:52 |
| 32 内間 康平                 | JPN | 1:17:52 |
| 37 伊藤 雅和                 | JPN | 1:17:52 |
| 46 初山 翔                  | JPN | 1:17:52 |
| 86 吉田 隼人                 | JPN | 1:17:52 |



## ツール・ド・ラビティビ2006日本代表選手団

大会名 ツール・ド・ラビティビ2006(UCIワールドツアー2-HC)  
 開催場所 カナダ・モントリオール  
 大会日程 2006年7月17日~23日 派遣日程 2006年7月15日~26日  
 代表選手団

監督 福田 公生(JCF強化コーチ)  
 コーチ 中田 将次(JCFジュニア強化育成部会支援スタッフ)  
 伊藤栄一郎(JCFジュニア強化育成部会支援スタッフ)

選手 内間 康平(沖縄・沖縄県立北中城高校)  
 伊藤 雅和(神奈川・法政第二高校)  
 初山 翔(神奈川・神奈川県立麻溝台高校)  
 吉田 隼人(奈良・榛生昇陽高等学校)  
 髙田 義明(埼玉・埼玉県立川越工業高校)  
 篠原 力也(香川・鹿屋体育大学)

日本航空
空で逢いましょう。



Dream Skyward.



ご予約・お問い合わせ [www.jal.co.jp](http://www.jal.co.jp)  
 国内線 ☎0120-25-5931  
 (営業時間 6:30~22:00/年中無休)  
 国際線 ☎0120-25-5931  
 (営業時間 8:00~21:00/年中無休)

# 平成 18 年度全国高等学校総合体育大会

## チームスプリントを制した作新学院が総合優勝

8月3日より6日までの4日間、だんじり祭りの準備で賑わう岸和田市、岸和田競輪場(通称:浪切バンク)で夏のインターハイが開催された。地元の協力により、オーロラビジョンを使用しての記録・映像の表示、レース画像のインターネットによるライブ中継の配信など自転車競技が幅広い層に受け入れられるような試みが行われ、実にインターネットは毎日5,000人を超えるアクセスがあり評判も上々であった。

今回、作新学院(栃木)が各種目で安定した総合力をみせ、17年ぶり3回目の総合優勝を果たした。

### 1km タイムトライアル

海風に悩まされ、なかなかタイムが出ない中、14組の長島(栃木・作新学院)と澤口(宮城・仙台商)が9秒台をマークしたが、最終組に登場した田口(秋田・六郷)が唯一8秒台をマークし見事優勝に輝いた。

### 3km 個人追抜競走

春の選抜では1kmTTで6位に入賞した不破(岐阜・岐南工)がこの種目へ転向し、唯一3分30秒台をマークし、昨年度この種目で3位の実績を持つ森田(和歌山・和歌山北)の決勝となった。平凡なタイムではあったが、不破が力強い走りを見せこの種目を制した。



### 4km 速度競走

4周目、集団から足立(京都・鴨沂)・江夏(鹿児島・南大隅)の2名飛び出し、

この2名によるゴール勝負と思われたが、それを許さなかったのは藤田(和歌山・和歌山北)。敬遠する集団から1人飛び出しホームの先頭責任をとると、その勢いは前を走る2人を見事にとらえそのままゴールし優勝、積極的な決断が良い結果を残す模範のレースで藤田のさわやかな笑顔に会場は大きな声援を送った。

### スクラッチレース

今回のレースも数名の選手が集団を揺さぶるも、大きな逃げが決まらず、最終的に集団でのゴールスプリントとなり、それを制したのは山崎(大分・別府商)であった。積極的に逃げをうつ選手もおらず、ケイリンの延長のようなレースであった。

### ポイントレース

レース全体としてはあまりペースのあがらない展開であった。序盤こそ、先頭が次々と変わったが、3回目のポイントからは大西(兵庫・三田学園)続いて高橋(岐阜・岐南工)が一人で逃げる展開となった。このまま、高橋が逃げ切るかと思われたが、残り10周手前で集団を抜け出して追ってきた数名の選手に追いつかれ、その中から奥崎(青森・青森山田)・内間(沖縄・北中城)がさらに速度を上げて、残り4周でメイン集団に追いつき、そのままゴールした。

### スプリント

スプリントを制したのは、宮崎(香川・石田)で終始安定した走り、とくにゴール手前での粘り強さが印象的なレース展開を見せた。また、2位雨谷(栃木・作新学院)3位に食い込んだのが予選一番時計の深谷(愛知・桜丘)であり、ともに2年生ながらすばらしいレースを見せており、来年へ大きな希望となった。

### ケイリン

春の選抜大会で入賞を果たしている選手が拮抗する中の決勝戦となった。この種目を制したのは井手(鹿児島・南大隅)であった。2位に小林(福岡・祐

誠)選抜優勝を果たしている真船(福島・白河実)は3位にとどまった。

### 団体追抜競走

この種目では常に上位入賞を果たしている岐南工(岐阜)と昨年度この大会で優勝した和歌山北(和歌山)の決勝となった。ともに予選タイムを上回る好タイムを出す見応えのある決勝戦となった。接戦の中、不破(岐南工)が原動力となり再びこの種目の頂点に立った。



### チームスプリント

予選タイム上位6チームが21秒台という僅差の中、見事決勝戦に進んだのは、伝統校作新学院(栃木)と一昨年度この種目優勝に輝いた仙台商(宮城)全員が2年生で構成された若き作新学院が予選を上回るタイムを叩き出し、優勝に輝いた。

### 個人ロードレース

舞州・夢州特設周回コースで行われた競技最終日は、作新学院(栃木)・別府商(大分)・岐南工(岐阜)・和歌山北(和歌山)が総合優勝をかける展開となり、果敢に集団からの逃げを試みるが、最終的に内間(沖縄・北中城)・市山(神奈川県・法政二)・青柳(栃木・作新学院)・伊丹(群馬・前橋育英)の4名が後半、集団から飛び出し、後続を大きく引き離し、最終的にゴール手前で飛び出した内間が逃げきり優勝を飾った。(早川 誠司)

[ 競技結果 ]

第57回全国高等学校対抗自転車競技選手権  
(2006/8/3-5 大阪・岸和田競輪場400m)

1kmタイムトライアル

- 1 田口 守 秋田 六郷高校 1:08.996
- 2 長島 大介 栃木 作新学院高 1:09.227
- 3 澤口 大和 宮城 仙台商業高 1:09.353
- 4 飯塚 隼人 佐賀 龍谷高校 1:09.721
- 5 山下 一輝 山口 誠英高校 1:09.943
- 6 才迫 勇馬 広島 黒瀬高校 1:10.361

スプリント

- 1 宮崎 康司 香川 石田高校
- 2 雨谷 一樹 栃木 作新学院高校
- 3 深谷 知広 愛知 桜丘高校
- 4 財前 匠 大分 別府商業高校
- 5 大島 将人 福島 白河実業高校
- 6 山崎 功也 秋田 能代西高校

ケリッ

- 1 井手 龍太 鹿児島 南大隅高校
- 2 小林 良輔 福岡 祐誠高校
- 3 真船圭一郎 福島 白河実業高校
- 4 神野 貴大 高知 高知東工業高校
- 5 森本 育弘 和歌山 紀北工業高校
- 6 高橋 克成 秋田 六郷高校

3km個人追抜競走

- 1 不破 将登 岐阜 岐南工業高 3:42.644
- 2 森田 大介 和歌山 和歌山北高 3:47.196
- 3 鳶田 義明 埼玉 川越工業高 3:45.315
- 4 窪木 一茂 福島 学法石川高 3:46.189
- 5 佐竹 佑樹 山形 村山農業高 3:46.058
- 6 相笠 翔太 福島 白河実業高 3:46.347

4km速度競走

- 1 藤田 勝也 和歌山 和歌山北高校
- 2 足立 和哉 京都 鴨沂高校
- 3 江夏 司朗 鹿児島 南大隅高校
- 4 黒木 光 大分 別府商業高校
- 5 工藤 勇司 青森 青森山田高校
- 6 福田 愛太 栃木 作新学院高校

ポイントレース(24km)

- 1 奥崎 心吾 青森 青森山田高校 31p
- 2 内間 康平 沖縄 北中城高校 27p

- 3 高橋 翔太 岐阜 岐南工業高校 20p
- 4 山國 渉 熊本 千原台高校 16p
- 5 大西 周太 兵庫 三田学園 15p
- 6 菱田 浩二 京都 花園高校 14p

スクラッチ

- 1 山崎 翼 大分 別府商業高校
- 2 松田 大樹 大分 日出暘谷高校
- 3 松井 響 京都 北桑田高校
- 4 磯田 旭 栃木 作新学院高校
- 5 大澤 哉太 北海道 函館大谷高校
- 6 野口 正則 奈良 榛生昇陽高校

チームスプリント

- 1 作新学院 雨谷・磯田・長島 1:20.863
- 2 仙台商高 澤口・渡邊・佐々木 1:22.062
- 3 別府商高 山崎・財前・利根 1:20.291
- 4 白河実業 大島・真船・相笠 1:21.454
- 5 朝明高校 小川・森下・若松 1:21.875
- 6 六郷高校 田口・高橋・藤谷 1:21.889

4km団体追抜競走

- 1 岐南工高 山田・横関・不破・高橋 4:34.530
- 2 和歌山北 森田・藤田・榎本・阪口 4:37.062

- 3 岡山工高 佐久間・片山・藤原・植田 4:43.369
- 4 日出暘谷 松田・佐藤・吉岡・原田 4:45.892
- 5 青森山田 奥崎・工藤・櫻庭・鹿内 4:47.848
- 6 紫波総合 君塚・中田・藤村・千葉 4:48.120

第51回全国高等学校自転車道路競走中央大会  
(2006/8/6 大阪・舞洲夢洲特設コース)

個人ロードレース(98km)

- 1 内間 康平 沖縄 北中城高校 2:32:28
- 2 市山 研 神奈川 法政二高校 2:32:32
- 3 青柳 憲輝 栃木 作新学院高 2:32:45
- 4 伊丹 健治 群馬 前橋育英高 2:32:47
- 5 吉田 隼人 奈良 榛生昇陽高 2:34:11
- 6 森田 大介 和歌山 和歌山北高 2:34:12
- 7 奥原 亨 神奈川 法政二高校 2:34:12
- 8 涌本 正樹 大阪 金剛高校 2:34:12
- 9 榎本 剛士 和歌山 和歌山北高 2:34:14
- 10 松井 響 京都 北桑田高校 2:34:36

総合成績

- |          |     |     |
|----------|-----|-----|
| 1 作新学院高校 | 栃木  | 38点 |
| 2 和歌山北高校 | 和歌山 | 27点 |
| 3 別府商業高校 | 大分  | 26点 |



未永くお付き合いいただくために。



シマノ製品をご愛用いただきまして

ありがとうございます。

シマノではユーザーの皆様へ、当社製品と

未永くお付き合いいただけるよう、

各種補修用パーツをご用意しております。

- 製品についている取扱い説明書をご使用前に必ずお読みください。
- 機能保証のために分解できないパーツもあります。
- お近くの自転車店でご相談下さい。別途送料がかかる場合があります。
- 在庫状況により、品切れの場合もあります。予めご了承下さい。

**SHIMANO**

www.shimano.com

XBC001-A

# 2006 BMX世界選手権大会

## チャレンジクラスで着々と実を挙げる



7月28日～30日開催の世界選に、蒔田会長を団長に役員5名、選手13名計18名が参加。日本の真裏、真冬のブラジル・サンパウロに向かって、ダラス経由で24時間の長旅であったが、無事早朝到着した。ホテルチェックイン時刻の都合上、サンパウロ市内を見物した。なかなか立派な町と思いましたが、ちょっと裏道に入ると凸凹舗装道路・・・、こんな風情でした。戦前に日本から移民が多かったためか、所々に日本人街が見受けられました。また姓に日本名を使っている3世にも会いました。

真冬のサンパウロに到着したときは、晴天かんかん照りの28 という凄い暑さでした。この変な天候は大会中続きました。次の日は晴、私と役員3名でUCI・BMX総会に出席し、我々と大変仲のよいUCI・BMXコミッション元副会長のエーブ・シュナイダ氏(オーストラリア)が会長となり、活発な議事進行は見事でした。BMXが北京オリンピックより正式種目になった事を踏まえ、

技術の向上ということについて我々のゾーンであるアジア・オセアニア地区については、年数回の交流国際大会を開催しようという提案を出されていました。

エーブ新会長の下、オリンピック種目採用を契機に、よりメジャースポーツになるよう全世界のそれぞれのゾーンで、力を合わせて躍進できたと痛感しました。

レース内容は天候に左右され、メインのエリートクラスが前倒し開催となり、盛り上がりには欠けたと思います。(普通、大会は最終日にエリートクラスが行われる。)

レース3日間は1日目快晴(気温25位)、2日目と3日目は小雨の降る10位の悪条件。レースによっては路面の保全上予選1回(普通3回)と厳しい運営。特筆すべきはG5-7で初陣の榊原爽が、予選1回目に転倒し救護室入りしたが、2回目には堂々参加して最終第2位に入賞。涙が出る程の感激とパワーを、日本

選手に与えてくれた事を賞賛したい。初参加に富山・中村千鶴も頑張り4位。常勝の三瓶将廣は4位と5位。高山一成も初参加で4位。着々と実を挙げている日本勢・チャレンジクラス。ナショナルチームは昨年第2位でしたが、本年は第7位でした。来年のカナダ世界選に向けてGO! (蒔田 一)

### [ 競技結果 ]

2006年BMX世界選手権大会  
(2006/7/28-30 ブラジル・サンパウロ)

#### 20インチBMX

|       |     |        |        |
|-------|-----|--------|--------|
| 三浦 進  | 大阪  | エリート   | 予選敗退   |
| 黒田 淳  | 神奈川 | エリート   | 予選敗退   |
| 島田 忠彦 | 広島  | エリート   | 予選敗退   |
| 高山 一成 | 埼玉  | M17-24 | 1/4F敗退 |
| 三瓶 将廣 | 神奈川 | B-16   | 4位     |
| 松下 巽  | 神奈川 | B-15   | 1/4F敗退 |
| 三瓶 貴公 | 神奈川 | B-14   | 1/4F敗退 |
| 榊原 魁  | 東京  | B-10   | 1/2F敗退 |
| 中村 千鶴 | 東京  | G-10   | 4位     |
| 織田 聖  | 東京  | B-8    | 1/4F敗退 |
| 須崎 巧悠 | 東京  | B-7    | 1/4F敗退 |
| 榊原 爽  | 東京  | G5-7   | 2位     |

#### 24インチカテゴリー

|       |     |       |        |
|-------|-----|-------|--------|
| 島田 忠彦 | 広島  | エリート  | 予選敗退   |
| 中村 千鶴 | 東京  | G-18  | 予選敗退   |
| 三瓶 貴公 | 神奈川 | 13-14 | 予選敗退   |
| 松下 巽  | 神奈川 | 15-16 | 予選敗退   |
| 三瓶 将廣 | 神奈川 | 15-16 | 5位     |
| 高山 一成 | 埼玉  | 17-29 | 5位     |
| 北川 大介 | 東京  | 30-34 | 1/4F敗退 |

国際自転車連盟



**JCF** JCFニュース

トラック強化指定選手の追加

短距離 伏見 俊昭(JPCA福島) 屋良 朝春(沖縄・日本大学)

国際事業推進室からのお知らせ

2007年にUCIコンチネンタル・チームとして登録することを希望するチームは、事前にUCIにリストを提出する必要がありますので、希望する旨を本連盟国際事業推進室に2006年9月30日までにご連絡ください。

# 第14回三笠宮杯ツール・ド・とうほく

男子高校生は石田、女子は豊岡が総合優勝



第14回三笠宮杯ツール・ド・とうほくは8月11日、秋田県大潟村での個人タイムトライアルを皮切りに、12日・紫波ステージ、13日・仙台ステージが実施された。

ツール・ド・とうほく初日、秋田県大潟村の個人タイムトライアルは猛暑の中行われ、男子高校の部(20km)において、石田正樹(青森選抜)が2位・吉田隼人(奈良・近畿選抜)に11秒差をつけて優勝、女子の部(10km)は豊岡英子(JCF)が向かい風にあおられながらも、14分20秒15のタイムで、萩原麻由子(鹿屋体育大学)に17秒差をつけ制した。

2日目は、舞台を岩手県紫波町に移し、爽やかな空の下、男子高校生の部が78.6km、女子の部が52.4kmの個人ロードレースが行われた。

男子高校生の部は最後の1kmからの上りのスプリント勝負で出遅れたものの、猛烈な追い込みを見せた野口正則(奈良・近畿選抜)が2時間05分02秒で9名の集団のトップでゴール。地元の中田匠(岩手選抜)は地の利を生かし3位と健闘した。

また、女子は萩原麻由子が豊岡英子とのゴール勝負を接戦でかわし、1時間39分26秒でツール・ド・とうほく出場3度にして初のステージ優勝を飾った。

3日目最終日は曇り空の下、宮城県仙台市で男子高校生の部90km、女子の部が60kmで総合優勝を懸けて熱戦が繰り広げられた。

1周15kmを6週する男子高校生の部は、終盤15名の先頭集団の中で、最後の上り坂からスパートした中田匠が後続に3秒差をつけ、2時間25分37秒で宮城ステージを制した。2位には竹之内悠

(京都・近畿選抜)が入った。

また、女子の部は連日激戦を繰り広げている豊岡英子と萩原麻由子が、2周目から終始お互い牽制しあい、残り1kmの上り坂で豊岡がスパートし、16秒差をつけ優勝。萩原が2位。3位には連日好走の小山美貴子(GSキョ・ミヤザワ)が入った。

個人総合では、高校生男子の部で石田正樹(青森選抜)が2位に17秒差をつけてトータル4時間59分24秒で優勝した。2位には伊丹健治(群馬・関東選抜)、3位には入部正太郎(奈良・近畿選抜)がそれぞれ入賞した。女子の部は、豊岡英子が萩原麻由子に33秒差をつけ、3時間39分04秒で優勝を飾った。3位には、小山美貴子が入り、前日まで3位をキープしていた西加南子(JCF)が最終日に自転車の器材故障に手間取り4位に止まった。

また、表彰式後にインターハイ及びツール・ド・とうほくにおいてジュニア対象で優勝者、準優勝者と1・2年生の中から次位者1名づつ、計6名が9月にイタリアで行われるジロ・デ・バジリカータに派遣されることになっていることから、選手のお披露目を行った。

【ジロ・デ・バジリカータ派遣選手】

監督:大野直志、コーチ:班目真紀夫、メカ・通訳:中島康仁、青柳 憲輝(作新学院)、伊丹 健治(前橋育英)、吉田 隼人(榛生昇陽)、石田 正樹(八戸工業)、入部 正太郎(榛生昇陽)、中田 匠(紫波総合)

## [競技結果]

第14回三笠宮杯ツール・ド・とうほく  
(2006/8/11-13 秋田/岩手/宮城)

男子高校生チーム総合成績

|            |          |
|------------|----------|
| 1 近畿高体連選抜  | 14:59:21 |
| 2 関東選抜     | 15:00:56 |
| 3 青森県高体連選抜 | 15:01:44 |

男子高校生個人総合成績

1 石田 正樹 青森 青森県選抜 4:59:24



|                   |         |
|-------------------|---------|
| 2 伊丹 健治 群馬 関東選抜   | 4:59:41 |
| 3 入部 正太郎 奈良 近畿選抜  | 4:59:48 |
| 4 奥崎 心吾 青森 青森県選抜  | 5:00:04 |
| 5 竹之内 悠 京都 近畿選抜   | 5:00:10 |
| 6 中田 匠 岩手 岩手県選抜   | 5:00:14 |
| 7 越海 誠一 大分 九州選抜   | 5:00:19 |
| 8 大久保 陣 鹿児島 九州選抜  | 5:00:24 |
| 9 堀内 俊介 神奈川 関東選抜  | 5:00:32 |
| 10 藤原聡一郎 広島 広島城北高 | 5:00:48 |

女子チーム総合成績

|             |         |
|-------------|---------|
| 1 JCF       | 7:22:56 |
| 2 鹿屋体育大学    | 7:25:12 |
| 3 GSキョ・ミヤザワ | 7:27:36 |

女子個人総合成績

1 豊岡 英子 大阪 JCF 3:39:04



|                       |         |
|-----------------------|---------|
| 2 萩原麻由子 群馬 鹿屋体育大      | 3:39:37 |
| 3 小山美貴子 埼玉 GSキョ・ミヤザワ  | 3:43:03 |
| 4 西 加南子 千葉 JCF        | 3:44:44 |
| 5 針谷千紗子 栃木 JCF        | 3:45:04 |
| 6 堀 友紀代 神奈川 GSキョ・ミヤザワ | 3:45:09 |
| 7 小淵 千恵 群馬 VOLCA-CCM  | 3:45:14 |
| 8 井上 想 北海道 札幌選抜       | 3:45:23 |
| 9 宮崎 杏菜 大分 鹿屋体育大      | 3:45:35 |
| 10 村中恵美子 東京 GSキョ・ミヤザワ | 3:45:45 |

# 競技大会 結果

大会名、チーム名等については略して記載

MTBジャパンシリーズ 田沢湖大会XC#5  
(2006/6/25 秋田・田沢湖畔)

XC男子エリート (30.4km)

- 竹谷 賢二 千葉 Specialized 1:48:41.97
- 武井 亨介 茨城 FORZA 1:50:38.79
- 野口 忍 京都 TREK 1:50:51.24
- 門田 基志 愛媛 Specialized 1:52:23.99
- 小野寺 健 京都 SUBARU 1:52:44.71
- 松本 駿 長野 TREK 1:53:54.45
- 山口 孝徳 長野 SUBARU 1:54:19.97
- 小笠原崇裕 長野 OGA 1:54:39.05
- 山本 和弘 長野 キャノン 1:54:49.48
- 白石 真悟 大阪 汎ドリック 1:58:09.83

XC女子エリート (15.2km)

- 田近 郁美 岐阜 MSC 1:08:13.41
- 深井 薫 大阪 BCM FKI 1:11:54.56
- 田崎 綾 千葉 1:12:12.35
- 矢沢みつみ 山梨 SY-Nak 1:14:18.69
- 丸山八智代 長野 1:25:38.57
- 山本 萌 北海道 ダンガリー Jr 1:28:22.44

第37回全日本実業団西日本自転車競技大会  
(2006/7/1-2 大阪・関西CSC 400m)

男子スプリント

- 篠原 龍馬 マリノワールド T.サイクルW
- 林 明宏 マリノワールド T.サイクルW
- 坂本 匡洋 アースバール
- 小林 信晴 天狗党
- 河端 朋之 Z-1MEDALIST.RC
- 丸山 繁一 アースバール

男子1kmタイムトライアル

- 篠原 龍馬 マリノワールド T.T 1:08.067
- 矢野 賢児 マリノワールド T.T 1:10.209
- 山中 貴雄 マリノワールド T.T 1:10.521
- 辻本 学 岩井商会レーシング 1:10.837
- 池本 和俊 マリノワールド T.T 1:10.871
- 山崎 潤 デュボ 1:10.997

男子ケイリン

- 大木 卓也 ミタハバ 1:07.743
- 岡村 敬之 デュボ 1:08.316
- 山田 佳典 朝日大学 1:08.362
- 仲松 勝太 チームけんしん 1:09.369
- 西尾 孝政 デュボ 4:50.590
- 門松 克己 アースバール 4:51.030

男子4km個人追抜競走

- 西谷 泰治 愛三工業レーシング 6周回追抜
- 盛 一大 愛三工業レーシング OVT
- Mark Burns ウィルワークスSBC 4:59.035
- 綾部 勇成 愛三工業レーシング 5:01.910
- 武藤 大輔 マリノワールド T.T 4:57.959
- 増田 智仁 朝日大学 5:02.898

男子エリミネーション

- 松村 友和 アースバール
- 佐野 伸弥 チームハイテクカラーレーシング
- 原 隆成 アースバール クラブ
- 柏野 智典 Z-1MEDALIST.RC
- 北川 光治 ミノイレレーシング チーム
- 上田 隆 チームハイテクカラーレーシング

男子ボイトレース (30km)

- 武藤 大輔 マリノワールド T.サイクルW 54p
- 西谷 泰治 愛三工業レーシング チーム 50p
- 盛 一大 愛三工業レーシング チーム 44p
- 柴田 一樹 朝日大学 39p
- 秋田 謙 愛三工業レーシング チーム 33p
- 矢野 泰弘 Good Wieler RIDLEY 28p

男子マシントレース

- 愛三工業レーシング A 西谷・盛 18p
- 愛三工業レーシング B 秋田・綾部 (-1) 17p
- マトリックス ワークス 向川・森 (-1) 13p
- チームサイクルプラス 神野・山口 (-1) 2p
- アースバール クラブ 原・曾田 (-2) 3p
- カガワS.K'デザイン 渡邊・藤田 (-3) 2p

男子チームスプリント

- マリノワールド 篠原・林・山中 1:20.456
- 朝日大学 山田・鷲原・高間 1:25.062
- 天狗党 天野・小林・林 1:22.108
- 愛三工業 西谷・盛・綾部 1:27.406
- Z-1Medalist 柏野・柳谷・河端 1:21.078
- けんしん 仲松勝・仲松太・山田 1:27.416

男子4km団体追抜競走

- 愛三工業 西谷・盛・秋田・綾部 4:40.650
- 朝日大学 増田・菊地・和田・井関 4:42.743
- マリノワールド 山田・武藤・岡田・池本 4:47.685
- サイクルプラス 石堂・神野・山口・吉井 4:55.884
- デュボ 善波・山崎・大村 4:56.001
- マトリックス 長野・向川・森・佐野 4:57.029

女子500mタイムトライアル

- 川満 佳子 岩井商会レーシング 39:770
- 大塚 沙織 パナニックレーシング チーム 40:761
- 三宅 悠里 天狗党 41:645
- 濱田 真子 ミタハバ 1:41:700
- 三井 由香 アースバール 41:812
- 戸田 尚由 フイトリッド RT 42:349

女子3km個人追抜競走

- 大塚 沙織 パナニックレーシング 4:09.107
- 豊岡 英子 masahikomifune 4:24.550
- 石井 愛 花園学園高校 4:26.986
- 濱田 真子 ミタハバ 4:30.192
- 小谷 翠 NCFR 4:44.118
- 越田恵美子 PEACE SPORT 4:45.324

女子ボイトレース (16km)

- 豊岡 英子 masahikomifune.com 32p
- 大塚 沙織 パナニックレーシング チーム 21p
- 石井 愛 花園学園高校 13p
- 濱田 真子 ミタハバ 11p
- 三宅 悠里 天狗党 -16p
- 小谷 翠 NCFR -19p

第37回全日本実業団東日本自転車競技大会  
(2006/7/14-15 福島・泉崎 33.3m)

男子スプリント (雨天のため)

- 湯原 正行 チームサイクルマイト
- 園田 鉄兵 日専連サイクルホレーション
- 鬼塚 智裕 中央大学自転車競技部

- 朝倉 佳弘 スパル-Kアスリート
- 国富 直樹 エコ三州観光沖縄
- 亀山 尊仁 湘南愛輪会
- 水野 悟志 マット・デ・チ ARIAKE
- 近藤 寛央 スパル-Kアスリート

男子1kmタイムトライアル

- 坂本 信也 チーム・デ・チ 1:10.487
- 水野 悟志 マット・デ・チ 1:10.625
- 駒井 大輔 ミタハバ 1:10.784
- 山崎 潤 デュボ 1:11.053
- 鬼塚 智裕 中央大学 1:11.143
- 水澤 耕一 ミタハバ 1:11.184

男子ケイリン (雨天のため)

- 小峰 烈 B-SOUL
- 駒井 大輔 ミタハバ 1:07.743
- 西尾 孝政 デュボ 1:08.316
- 水澤 耕一 ミタハバ 1:08.362
- 栗田 雄矢 マット・デ・チ ARIAKE
- 古川 宗行 スパル-Kアスリート

男子4km個人追抜競走

- 朝倉 佳弘 スパル-Kアスリート 4:59.149
- 渡辺耕三郎 中央大学 4:59.729
- 明珍多久雄 チーム・デ・チ 4:59.773
- 善波 昭 デュボ 5:11.266
- 山崎 潤 デュボ 5:09.901
- 市村 彰 エコ三州観光沖縄 5:17.111

男子エリミネーション

- 高橋 仁 チーム・デ・チ
- 小峰 烈 B-SOUL
- 吉野 鉄平 チーム・デ・チ
- 岡田 将太 マット・デ・チ ARIAKE
- 河上 陽一 チーム・デ・チ
- 角 尚也 チームサイクルマイト

男子ボイトレース (30km) (雨天のため)

- 明珍多久雄 チーム・デ・チ
- 柳沢 正 JOA-FORZALレーシング
- 工藤 紀夫 JOA-FORZALレーシング
- 善波 昭 デュボ
- 高野 真一 チーム・デ・チ
- 宗野 薫 マット・デ・チ ARIAKE

- 飯塚 航 中央大学
- 大久保宣行 チーム・デ・チ
- 糸賀 賢司 チーム・デ・チ
- 市村 彰 エコ三州観光沖縄
- 大村 萬里 TeamIFEオト
- 松本 陽介 TEAM BT工房

- 安原 昌弘 マトリックス ワークス スペシャルイスト
- 向川 尚樹 マトリックス ワークス スペシャルイスト
- 森 真博 マトリックス ワークス スペシャルイスト

男子チームスプリント (雨天のため予選タイムによる)

- ミタハバ 水澤・駒井・仙波 1:07.743
- マット・デ・チ 岡田・久保田・落合 1:08.316
- デ・チ 河上・高橋・糸賀 1:08.362
- エコ三州観光 市村・国富・川畑 1:09.369

男子4km団体追抜競走

- デ・チ 吉野・坂本・糸賀・明珍 4:50.590
- スパル-K 沢口・朝倉・古川・近藤 4:51.030
- デュボ 善波・山崎・大村 4:54.928
- マット・デ・チ 水野・岡田・宗野 5:18.999

女子500mタイムトライアル

- 和地 恵美 たかだフルドレーシング 41.260
- 濱田 真子 ミタハバ 41.444
- 三宅 悠里 天狗党 41.474

|             |                 |          |
|-------------|-----------------|----------|
| 4           | 中山 朋子 神奈川       | 43.069   |
| 女子3km個人追抜競走 |                 |          |
| 1           | 濱田 真子 スタッフ 和ハール | 4:20.032 |
| 2           | 和地 恵美 たかだフルト    | 4:23.804 |
| 3           | 中山 朋子 神奈川       | 4:32.680 |
| 4           | 三宅 悠里 天狗党       | 4:37.710 |

第5回全日本実業団サイクルロードレース in 石川  
(2006/7/16 福島・石川町)

|                |                       |         |
|----------------|-----------------------|---------|
| BR-1 (102.2km) |                       |         |
| 1              | 岡崎 和也 JPCA Team Nippo | 2:40:51 |
| 2              | 田中 光輝 愛知 愛三工業         | 2:41:24 |
| 3              | 田代 恭崇 JPCA プリジストン     | 2:41:24 |
| 4              | 真鍋 和幸 香川 Team Nippo   | 2:41:24 |
| 5              | 阿部 良之 JPCA シルレーシング    | 2:41:26 |
| 6              | 小嶋 洋介 京都 Comrade      | 2:41:30 |
| 7              | 橋川 健 福島 マトリックス        | 2:41:40 |
| 8              | 三船 雅彦 JPCA ミタズバル      | 2:41:59 |
| 9              | 中島 康晴 福井 鹿屋体大         | 2:42:15 |
| 10             | 鈴木 真理 JPCA ミタズバル      | 2:43:23 |

|             |                   |         |
|-------------|-------------------|---------|
| 女子 (47.8km) |                   |         |
| 1           | 小山美貴子 埼玉 ZELKOVA  | 1:39:40 |
| 2           | 桜本恵津子 宮城 ヘルキップ    | 1:39:52 |
| 3           | 智野 真央 東京 SERENO   | 1:39:52 |
| 4           | 戸井麻里子 埼玉 なるしまフルト  | 1:39:52 |
| 5           | 佐藤紗矢香 北海道         | 1:39:55 |
| 6           | 西出 清香 福井 BALBA    | 1:39:59 |
| 7           | 井上由佳子 東京 SERENO   | 1:40:03 |
| 8           | 志村みち子 埼玉 カニールあづみの | 1:40:19 |
| 9           | 和地 恵美 東京 たかだフルト   | 1:41:26 |
| 10          | 中山 朋子 神奈川         | 1:42:14 |

|               |                |         |
|---------------|----------------|---------|
| ジュニア (61.4km) |                |         |
| 1             | 窪木 一茂 福島 学法石川高 | 1:45:29 |
| 2             | 相笠 翔太 福島 白河実業高 | 1:45:32 |
| 3             | 藤村 純平 岩手 岩手県車連 | 1:45:43 |
| 4             | 青柳 憲輝 栃木 作新学院高 | 1:45:43 |
| 5             | 橋本 龍弘 福島 学法石川高 | 1:45:44 |
| 6             | 本馬 陵 福島 平工業高校  | 1:45:52 |
| 7             | 中田 匠 岩手 岩手県車連  | 1:45:58 |
| 8             | 加藤 隆弘 栃木 作新学院高 | 1:49:19 |
| 9             | 小黒 祐也 新潟 吉田高校  | 1:52:43 |
| 10            | 千葉 大輔 岩手 岩手県車連 | 1:54:29 |

第3回全日本実業団サイクルロードレース in 小川  
(2006/7/23 長野・上水内郡小川村)

|               |                      |         |
|---------------|----------------------|---------|
| BR-1 (76.7km) |                      |         |
| 1             | 阿部 良之 JPCA シルレーシング   | 2:38:29 |
| 2             | 橋川 健 福島 マトリックス       | 2:39:08 |
| 3             | 中村 誠 石川 ミタズバル        | 2:39:16 |
| 4             | 柿沼 章 栃木 ミタズバル        | 2:40:46 |
| 5             | 山本 和弘 北海道 日本アイソト     | 2:42:57 |
| 6             | 小嶋 洋介 京都 Comrade     | 2:43:54 |
| 7             | 清水 英樹 鳥取 Good Wieler | 2:43:56 |
| 8             | 津末 浩平 大分 ミタズバル       | 2:44:05 |
| 9             | 広瀬 学 石川 YOU CAN      | 2:44:16 |
| 10            | 綾部 勇成 神奈川 愛三工業       | 2:44:38 |

|                 |                   |         |
|-----------------|-------------------|---------|
| 女子オープン (27.8km) |                   |         |
| 1               | 豊岡 英子 大阪 masahiko | 1:08:53 |
| 2               | 山口 亮子 愛知 カンCCD    | 1:09:45 |
| 3               | 小山美貴子 埼玉 ZELKOVA  | 1:14:56 |
| 4               | 戸井麻里子 埼玉 なるしまフルト  | 1:17:30 |
| 5               | 桜本恵津子 宮城 ヘルキップ    | 1:19:29 |
| 6               | 志村みち子 埼玉 カニールあづみの | 1:22:36 |
| 7               | 西條 瑞穂 長野          | 1:25:37 |

MTBジャパンシリーズ さのさか大会XC#6  
(2006/7/30 長野・さのさか)

|                 |                      |            |
|-----------------|----------------------|------------|
| XC男子エリート (26km) |                      |            |
| 1               | 小野寺 健 京都 SUBARU      | 1:43:12.76 |
| 2               | 竹谷 賢二 千葉 Specialized | 1:44:45.19 |
| 3               | 野口 忍 京都 TREK         | 1:47:09.79 |
| 4               | 武井 亨介 茨城 FORZA       | 1:48:14.07 |
| 5               | 小笠原崇裕 長野 OGA         | 1:48:49.82 |
| 6               | 松本 駿 長野 TREK         | 1:51:09.87 |
| 7               | 門田 基志 愛媛 Specialized | 1:51:32.30 |
| 8               | 山本 和弘 長野 キャンデー       | 1:52:06.53 |
| 9               | 山口 孝徳 長野 SUBARU      | 1:52:58.39 |
| 10              | 色川 浩樹 茨城 Specialized | 1:54:17.22 |

|                   |                  |            |
|-------------------|------------------|------------|
| XC女子エリート (20.8km) |                  |            |
| 1                 | 片山 梨絵 神奈川 TREK   | 1:47:44.46 |
| 2                 | 田近 郁美 岐阜 MSC     | 1:50:13.89 |
| 3                 | 矢沢みつみ 山梨 シナック    | 1:50:15.48 |
| 4                 | 深井 薫 大阪 BMC FKI  | 1:57:18.70 |
| 5                 | 佐々木優子 茨城 FORZA   | 1:59:20.40 |
| 6                 | 酒井 真清 大阪 Testach | 2:07:54.00 |

|    |                    |            |
|----|--------------------|------------|
| 7  | 笹本 みき 山梨 splash    | 2:11:54.00 |
| 8  | 齋藤 磨実 神奈 Team MASA | -1lap      |
| 9  | 光田 真基 三重 East West | -1lap      |
| 10 | 山本 佳苗 岡山 ダックスフント   | -1lap      |

XC男子エリートタイムトライアル (2.1km)

|   |                      |          |
|---|----------------------|----------|
| 1 | 小野寺 健 京都 SUBARU      | 7:11.875 |
| 2 | 野口 忍 京都 TREK         | 7:38.933 |
| 3 | 山本 幸平 新潟 アトデア学校      | 7:39.229 |
| 4 | 山本 和弘 長野 キャンデー       | 7:42.939 |
| 5 | 小笠原崇裕 長野 OGA-STYL    | 7:45.681 |
| 6 | 門田 基志 愛媛 Specialized | 8:01.321 |
| 7 | 山口 孝徳 長野 SUBARU      | 8:01.541 |
| 8 | 松本 駿 長野 TREK         | 8:03.680 |
| 9 | 竹谷 賢二 千葉 Specialized | 8:04.353 |

XC女子エリートタイムトライアル (2.1km)

|   |                 |           |
|---|-----------------|-----------|
| 1 | 片山 梨絵 神奈川 TREK  | 9:34.380  |
| 2 | 矢沢みつみ 山梨 シナック   | 9:48.947  |
| 3 | 田近 郁美 岐阜 MSC    | 10:28.066 |
| 4 | 深井 薫 大阪 BMC FKI | 10:34.922 |
| 5 | 丸山八智代 長野        | 11:56.311 |

第3回全日本実業団サイクルロードレース in 丸岡  
(2006/8/6 福井・丸岡町特設コース)

|                |                    |         |
|----------------|--------------------|---------|
| BR-1 (139.3km) |                    |         |
| 1              | 山本 雅道 JPCA シルレーシング | 3:12:53 |
| 2              | 鈴木 真理 JPCA ミタズバル   | 3:12:54 |
| 3              | 小室 雅成 埼玉 グレイトン     | 3:12:54 |
| 4              | 廣瀬 敏 石川 愛三工業       | 3:12:54 |
| 5              | 橋川 健 福島 マトリックス     | 3:12:54 |
| 6              | 大内 薫 JPCA シルレーシング  | 3:12:54 |
| 7              | 三船 雅彦 JPCA ミタズバル   | 3:12:54 |
| 8              | 野口 忍 京都 ボンドレガ      | 3:12:54 |
| 9              | 柿沼 章 栃木 ミタズバル      | 3:12:55 |
| 10             | 佐野 友哉 大阪 マトリックス    | 3:12:55 |

|           |                    |         |
|-----------|--------------------|---------|
| 女子 (51km) |                    |         |
| 1         | 酒井 真清 大阪 Testach   | 1:20:11 |
| 2         | 戸井麻里子 埼玉 なるしまフルト   | 1:23:23 |
| 3         | 智野 真央 東京 SERENO    | 1:26:01 |
| 4         | 加藤 紀衣 大阪 Testach   | 1:32:53 |
| 5         | 長谷留美子 石川 LOVE・BIKE | 1:32:53 |
| 6         | 永島 律子 京都 PRESTO    | 1:32:53 |

2006年ロード世界選手権大会 日本代表選手団

|         |   |
|---------|---|
| 大会名     | 2006年ロード世界選手権大会・個人ロードレース                              |
| 開催場所    | オーストリア・ザルツブルグ   |
| 大会期間    | 2006年9月23日～24日  |
| 派遣期間    | 2006年9月17日～26日  |
| 代表選手団   |   |
| 監督      | 三浦 恭資( JCF選手強化コーチ )                                   |
| コーチ     | 大門 宏・藤野 智一( JCFロード競技部会員 )                             |
| 効通訳     | 西 勉( JCFロード支援スタッフ )                                   |
| マッサージ   | ピアンキ・セルジオ   |
| 総務・広報   | 土肥 志穂( JCFロード支援スタッフ )                                 |
| Elite男子 | 別府 史之( ディスカバリーチャンネル )・野寺 秀徳( シマノ )・福島 晋一( チームパン )     |
| U23男子   | 新城 幸也( チームパン )・三瀬 光誠( 鹿屋体育大学 )・畑中 勇介( チームプリジストンアンカー ) |
|         | 村山 規英( チーム・プリジストンアンカー )                               |
| Elite女子 | 沖 美穂( ラ・ピスタ・ワナビ )・萩原麻由子( 鹿屋体育大学 )                     |

|  |   |
|--|---|
| <p style="text-align: center;"><b>ロードU23ナショナルチームの遠征</b></p> <p>派遣日程 2006年8月9日～22日<br/>         派遣場所 イタリア・ローマ/フランス・パリ<br/>         大会日程 8/13 Trofeo internazionale Bastianelli(UCI1-2)<br/>         8/16 GP-Capodarco(UCI1-2)<br/>         8/17 G-C-Milioniaria(UCI1-2)<br/>         8/19-20 La Cabri Tour-Agglomeration De St Brievcsbag Elite</p> <p>代表選手団<br/>         監督 大門 宏(JCFロード競技部会部会員)<br/>         メニツク 柿木 孝幸(JCFロード競技部会部支援スタッフ)<br/>         スタッフ 小野 絹代(JCFロード競技部会部会員)<br/>         選手 三瀧 光誠(山形・鹿屋体育大学)<br/>         石井 陽(京都・立命館大学)<br/>         後藤 辰徳(岐阜・日本大学)<br/>         片山 和正(岡山・鹿屋体育大学)<br/>         山下 貴宏(兵庫・大阪産業大学)</p> | <p style="text-align: center;"><b>第7回アジア室内自転車競技選手権日本代表選手団</b></p> <p>大会名 第7回アジア室内自転車競技選手権大会<br/>         開催場所 ホンコン・チャイナ<br/>         大会日程 2006年9月9日～9月10日<br/>         派遣日程 2006年9月8日～9月11日</p> <p>代表選手団<br/>         サイクルカッパ 時倉 宗大(神奈川・蔵前)・藤田 洋介(東京・蔵前)<br/>         サイクルウェア 芝山 耕輔(東京・東京工業大学)</p>  |
| <p style="text-align: center;"><b>ツール・ド・インドネシア日本代表選手団</b></p> <p>大会名 ツール・ド・インドネシア<br/>         開催場所 インドネシア<br/>         大会日程 2006年8月27日～9月4日<br/>         派遣日程 2006年8月25日～9月6日</p> <p>代表選手団<br/>         監督 三浦 恭資(JCF強化コーチ)<br/>         メニツク 斉藤 健吾(JCFロード競技部会支援スタッフ)<br/>         マッサー 宮島 正典(JCFロード競技部会支援スタッフ)<br/>         広報 渡会 菜々(JCFロード競技部会支援スタッフ)<br/>         選手 広瀬 敏(JPCA・愛三工業レーシング)<br/>         三船 雅彦(JPCA・ミヤタスバルレーシングチーム)<br/>         飯島 誠(JPCA・チームブリヂストン・アンカー)<br/>         福島 晋一(JPCA・チームパン)<br/>         福島 康司(JPCA・チームパン)</p>  | <p style="text-align: center;"><b>2006年MTB世界選手権日本代表選手団</b></p> <p>大会名 2006年マウンテンバイク世界選手権大会<br/>         開催場所 ニュージーランド・ロトルア<br/>         大会日程 2006年8月22日～27日<br/>         派遣日程 2006年8月20日～28日</p> <p>代表選手団<br/>         監督 西井 匠(JCF選手強化スタッフ部会)<br/>         メニツク 仁木 康夫・白井 三善(JCF選手強化スタッフ部会)<br/>         選手<br/>         XC男子Elite 竹谷 賢二(千葉・SPECIALIZED)<br/>         白石 真悟(大阪・シマノドリンキング)<br/>         小笠原崇裕(長野・OGA-STYL.com)<br/>         XC女子Elite 片山 梨絵(神奈川・TREK)<br/>         XC男子U23 山本 幸平(北海道・国際アウトドア専門学校)<br/>         小野寺 健(北海道・SUBARU GARYFISHER)<br/>         XC男子Junior 竹之内 悠(京都・Panasonic Racing)<br/>         DH男子Elite 井出川直樹(広島・G Cross HONDA)<br/>         DH男子Junior 門脇 祥(新潟・MonsterRiders)<br/>         永田 隼也(神奈川・AYLE KAMIKAZE)<br/>         DH女子Elite 未政 実緒(兵庫・大川組)<br/>         4X男子 栗瀬 裕太(大阪・MX MONGOOSE)<br/>         4X女子 未政 実緒(兵庫・大川組)</p> |

## 連盟の動き (7月下旬～8月下旬)

|       |                            |                            |
|-------|----------------------------|----------------------------|
| 7月30日 | トラックジュニア世界選日本代表選手団出発       | 於：ベルギー・ゲント(帰国 8月10日)       |
| 8月7日  | ロードジュニア世界選日本代表選手団出発        | 於：ベルギー・スパ・フランコルシャン(帰国 15日) |
| 9日    | ロードU23イタリア・フランス遠征日本代表選手団出発 | 於：イタリア、フランス(帰国 22日)        |
| 20日   | MTB世界選日本代表選手団出発            | 於：ニュージーランド・ロトルア(帰国 28日)    |
| 21日   | トラック強化合宿                   | 於：静岡・日本CSC(～27日)           |
| 23日   | 平成18年度第4回選手強化委員会           | 於：静岡・日本CSC                 |

**JCF協賛スポンサー**















シクリスムエコー No.132 2006年8月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩楯昭一

編集人/加藤 昭

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>